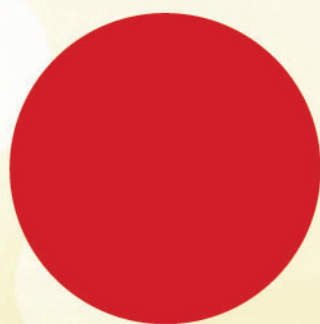


日本遺産

みちのくGOLD 浪漫

- 黄金の国ジパング、産金はじめりの地をたどる -

追加認定記念
パンフレット



JAPAN HERITAGE

日本遺産



みちのく
GOLD
浪漫

黄金の国ジパング、
産金はじめりの地をたどる

2025

大船渡市

日本遺産とは

「地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリー」を文化庁が認定する制度のことです。

地域の歴史や文化財に物語性を持たせて魅力を発信し、**地域の活性化を目指す取組**です。

認定されたストーリーは、全国に104つあり、日本遺産として継続できるか、定期的に審査が行われます。審査の結果によっては、**取消**となる可能性もあり、継続的な取組が必要です。日本遺産への登録は、**ゴール**ではなく、**スタート**なのです。

みちのく GOLD 浪漫とは

令和元年度、69番目に認定された日本遺産のストーリーです。

正式には「みちのく GOLD 浪漫 - 黄金の国ジパング、産金はじめりの地をたどる -」

ストーリーの概要

日本で初めて“金”が産出されたのは、奈良時代の陸奥の国、現在の岩手県や宮城県を含む地域です。

この地が生んだ“金”は、富の象徴のみならず、奈良・東大寺の大仏や平泉・中尊寺金色堂を彩り、祈りの対象として人々の心に光を灯し続けてきました。

やがてその“金”は、時代とともに幾重にも結びつき、独自の文化や信仰、そして産業へと昇華していきます。

そうした“金”と人々との縁を“**みちのく GOLD**”と名付け、日々の生活や風土に息づく“みちのく GOLD”を掘り起こしています。

“みちのく GOLD”の発見は、マルコポーロが「黄金の国・ジパング」と称した理想郷にも劣らない、きらめく浪漫に満ちあふれています。

推進体制

日本遺産「みちのく GOLD 浪漫」は、複数の自治体が連携してストーリーを展開する「シリアル型」の日本遺産です。

宮城県の涌谷町、南三陸町、気仙沼市、石巻市、岩手県の平泉町、陸前高田市で構成され、今回、大船渡市が加わり、7市町となります。

取組を推進するため、構成7市町による日本遺産「みちのく GOLD 浪漫」推進協議会が組織されています。



みちのく GOLD 浪漫 6つのストーリー

1. ～はじまりは一粒の“砂金”から～

みちのくの金をつくり出した
背景を知るストーリー（地質時代）

【主な構成文化財】

氷上山、岩井崎、気仙本吉御絵図、
今出山、基石海岸など

2. 皆金色の理想郷

奥州藤原氏が金によって具現した
理想郷のストーリー（平安時代）

【主な構成文化財】

中尊寺金色堂、田東山経塚群など

3. 日本の“金”発祥の聖地

日本初の金の産出に関する
ストーリー（奈良時代）

【主な構成文化財】

黄金山産金遺跡、黄金山神社、万葉歌碑、
笈岳・涌谷の砂金など

4. 金山採掘の栄枯盛衰

近世金山開発の栄枯盛衰の
ストーリー（戦国・江戸時代）

【主な構成文化財】

金山御本判、玉山金山遺跡、吉田家文書、
旧吉田家住宅主屋、竹駒神社など

5. 日本のゴールドラッシュの一翼を 担った近代鉱山

近代化された大規模鉱山開発の
ストーリー（明治時代～昭和）

【主な構成文化財】

鹿折金山跡、大谷鉱山跡、今出山金山跡など

6. ～花咲け“みちのく GOLD”浪漫～

金と人々の縁によって生み出された
文化のストーリー（～現代）

【主な構成文化財】

秀衛塗、くびふりページ、気仙沼港と風
待ちの風景、金華山詣、大なる入り江サン
・アドレス - 大船渡湾の風景 - など

大船渡の構成文化財・活用テーマ





黄金の物語が息づく山

今から、およそ1億1,000～3,000万年前、海底火山等の活動が活発になり、地下の深いところにあった安山岩等の火成岩類が押し上げられ、今出山のもとができました。この時、内部にできた亀裂に、金鉱脈ができました。その後、長い長い年月をかけ、今出山は現在の雄大な姿を地表に現し、金山としての歴史をたどったのです。

大船渡の金鉱脈はどのようにできたの？

マグマから溶け込んだ「金」などを含む熱水が、岩盤の割れ目に流れ込む。すると、金と石英が割れ目に沈殿し、金脈や石英脈（水晶）ができるんだトン。金の近くに水晶があるのはこのためなんだトン。



大船渡の金山は、いつできたの？

主に2つの時期に金ができただん！

- 1：氷上山の金鉱脈ができただん
- 2：今出山の金鉱脈ができただん

※氷上山には、古生代と中生代の両方の金鉱床があるとされています。大船渡市日頃市町の金山は、主に氷上山の金鉱脈の一部です。

1	古生代 オルドビス紀	約4億5,000万年前 海の生物が大繁栄した時代
2	中生代 前期白亜紀	約1億1,000～3,000万年前 恐竜が生きた時代

碁石海岸

かいご
いがし
ん

今出山に金鉱脈ができた時代を知る

今から、およそ1億1,000～3,000万年前、地球規模で海底火山等の活動が活発になり、山や山脈等を作り出す運動（造山運動）が起こり、今出山をはじめとする金山の金鉱脈が形成されました。

碁石海岸には、碁石浜等で見られる真っ黒な「黒色頁岩」のほか、穴通磯で見られる地層が傾いたり、折れ曲がったりした「褶曲」、垂水浜で見られる「変成岩」など、「みちのくの金」を生み出した大規模な造山運動の証拠が随所に見られます。

碁石海岸でも
金が取れるの？

金は取れないんだトン^{!!}。碁石海岸は、泥と砂が海底にたまって固まったしま模様が見られる海岸で、囲碁の黒い石のような小さくて丸い石（黒色頁岩）が浜に広がっているトン^{!!}。



なぜ、碁石海岸が「みちのく GOLD 浪漫」に入ったの？

「みちのくの金」を生み出した地球規模の壮大なドラマを知ることができるからなんだトン^{!!}。

碁石海岸の丸い石が黒いのは、当時の海は酸素が少なく、有機物が分解されなかったことを示しているトン^{!!}。なぜ、こんなことが起きたのか、それは、海底火山等の活動が活発化していたからなんだトン^{!!}。

碁石海岸には、金鉱脈ができた当時の環境や、金が地球からの贈り物であることを知る手がかりがいっぱいあるんだトン^{!!}！



今出山金山跡

いまでやまきんざんあと

気仙四大金山のひとつ

古くは、平泉の黄金文化を支えたとも伝わり、江戸時代に入ると坑道掘りが行われ、気仙四大金山のひとつに数えられました。

金山には、いくつもの坑道跡や水路跡等のほか、昭和初期に進んだ鉱山設備の機械化の痕跡を今に伝えています。

東麓の黒森平では、全盛期に事務所や映画館、長屋が建設され、数百人もの人々が暮らしていました。苔むした石垣等が現存し、近代鉱山の歴史を今に伝えています。

今出山のどこに 金山があるの？

今出山は、山頂付近から麓にかけて、多くの坑道跡があるんだトン。そのうちいくつかは、金があるかを確認した試掘坑なんだトン。坑道跡は、崩れて、今は見ることができないものもあるんだトン。



甫嶺地区にある越喜来坑（試掘坑）

大船渡湾の風景

大なる入り江サン・アンドレス
だいなるいりえサン・アンドレス
おおふなどわんのふうけい

金銀島探検家ビスカイノが名づけた風景

慶長 16 年 (1611)、金銀島を探し求めるスペイン人探検家セバスチャン・ビスカイノが来航し、大船渡湾を「サン・アンドレス」と名付け、「大なる入り江」と評しました。

古くから天然の良港として様々な船が行き交ってきた大船渡湾には、世界の探検家が「黄金の国ジパング」を目指した大航海時代を偲ぶ風景が息づき、みちのくの地が育んだ風土と、そこに生きる人々の間に根付く金の縁を今に伝えています。

ビスカイノはなぜ来たの？

遭難者の救助のお礼として、スペインから派遣されたのが、ビスカイノだったんだトン。でも、日本沿岸の測量や日本近海にあるとされた伝説の金銀島の探索の使命もあったといわれているトン。江戸幕府の許可を得て、伊達政宗の支援を受け、仙台藩領の沿岸北部の測量を行う中で大船渡にたどり着いたんだトン。



サン・アンドレスってなに？

ビスカイノが大船渡湾に到着した日が11月30日で、聖アンドレス（聖アンデレ）の祭日だったことから、名付けられたんだトン！

